KIORITZ

取 扱 説 明 書

共立フライングモア
FM-47

⚠ 警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

2003/03

はじめに

ご挨拶

・共立フライングモアをお買い上げいただき、ありがとうございます。

用途

・このフライングモアは、草刈や芝刈に使用する機械ですのでそれ以外の目的には使用しないでください。

取扱説明書について

・この取扱説明書には、組立や操作、整備に必要な事項が書かれていますので正しく効果的な製品の取扱いができるよう、よく読んで理解してください。説明をわかりやすくするため、使用している図は現品と異なる場合があります。

・単位はＳＩ単位（国際単位系）を使用しています。（　）内は参考値ですので数%の換算誤差がある場合もあります。

・この取扱説明書は、いつでも読めるように必ず保管してください。
この取扱説明書が損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店から新しく取扱説明書を購入し、常に参照できるよう保管してください。

貸与、譲渡

・この取扱説明書で解説している機械を貸与する場合、借りて作業をする人に、この取扱説明書とともに機械を貸与してください。
製品を譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。

おことわり

・本書に記載されている仕様や解説あるいは説明のために例にあげられている図や内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。

・本製品はハンドルとデッキ部が別々になっていますので、組立作業が必要となります。

・ご不明なことやお気付きのことがございましたら、販売店にご相談ください。

目　　次

はじめに 2
警告表示マークの意味 3
各部の名称 4
　各部の名称とその機能 5
組立 6
　ハンドルの組付 6
　刈高さの調整 6
正しい作業のために 7
　作業者の体調 7
　保護具 8
操作方法 9
　燃料の取扱い 9
　エンジンの始動と停止 10
　基本的な作業方法 11
　作業上の注意 12
　刈刃使用上の注意 12
点検・整備 13
　点検要領 13
　刈刃の研磨と交換 14
故障診断と対策 15
保管 16
　長期保管（６０日間以上）..... 16
仕様 17

警告表示マークの意味

⚠ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。

⚠ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。

⚠ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。

丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

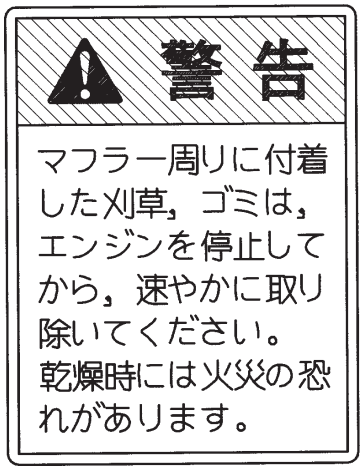
重要

重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている機械の使用、点検、保守・保管に関する重要な注意事項です。

- **この取扱説明書で解説されている機械には、下表の「警告表示ラベル」が貼付してあります。ご使用前にラベルの意味を理解してください。**
- **万一、ラベルが摩滅したり破損して読めなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店から新しくラベルを購入し、「各部の名称」に指示してある箇所に貼り、常にラベルが読める状態を維持してください。**

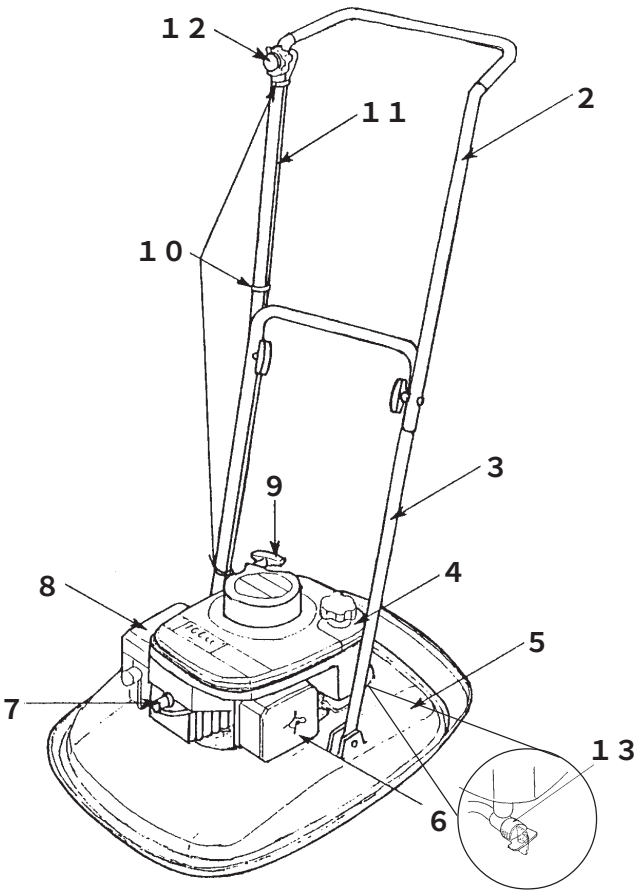
警告表示ラベル







各 部 の 名 称

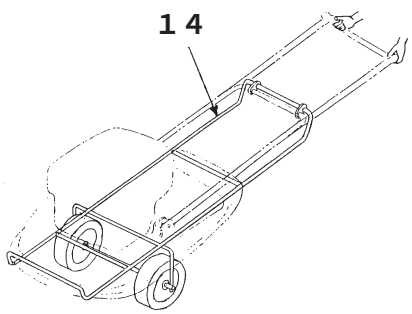


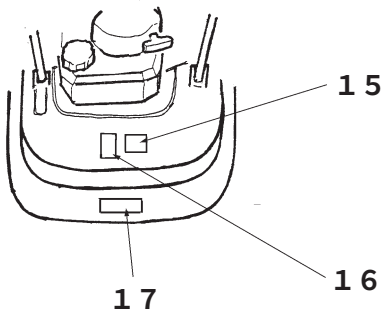
1



⚠ 警告

マフラー周りに付着した刈草，ゴミは，エンジンを停止してから，速やかに取り除いてください。乾燥時には火災の恐れがあります。





⚠ 危 険



手や足を近づけないで下さい。刈刃により，大けがをするおそれがあります。

⚠ 注 意

ご使用前に必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。	使用時は保護長靴，保護眼鏡，保護手袋，保護帽等の保護具を着用してください。	刈取部より異物が飛散し危険です。周りに人や動物がいないことを確認して作業して下さい。

各部の名称とその機能

１．取扱説明書	― 機械をお求めになったとき必ず付いています。 機械を使用する前に必ず読んでください。また正しい操作方法を再確認する場合に備え、すぐ取出せる場所に、必ず保管してください。
２．上ハンドル	― 作業時に握るハンドルで、ストップスイッチが付いています。
３．下ハンドル	― 上ハンドルとデッキを連結します。
４．燃料タンク	― 燃料を入れる容器です。
５．デッキ	― 刈刃から作業者を守るとともに、ファンの風により、全体を浮かせます。
６．エアクリーナ	― エンジンに供給される空気をきれいにします。
７．スパークプラグ	― エンジンの頭部に組付けられ、燃料に点火するものです。
８．マフラカバー	― マフラ(消音器)をカバーし、作業者が不用意に熱いマフラに触れるのを防ぎます。
９．スタータグリップ	― エンジンを始動するときに使用します。
１０．固定バンド	― リード線をハンドルに固定します。
１１．リード線	― ストップスイッチとイグニッションコイルをつなぐ電線です。
１２．ストップスイッチ	― エンジンを停止するときのスイッチです。
１３．燃料コック	― 燃料タンクと気化器の間の燃料通路を開閉します。
１４．移動用カート（別売）	― 本機を移動するためのカートです。
１５．警告表示ラベル	― マフラ周りの刈草、ゴミを取除くよう表示しています。
１６．危険表示ラベル	― 刈刃に手や足を近づけないよう表示しています。
１７．注意ラベル	― 取扱説明書を読むこと、保護具を付けること、異物の飛散に注意することを表示しています。

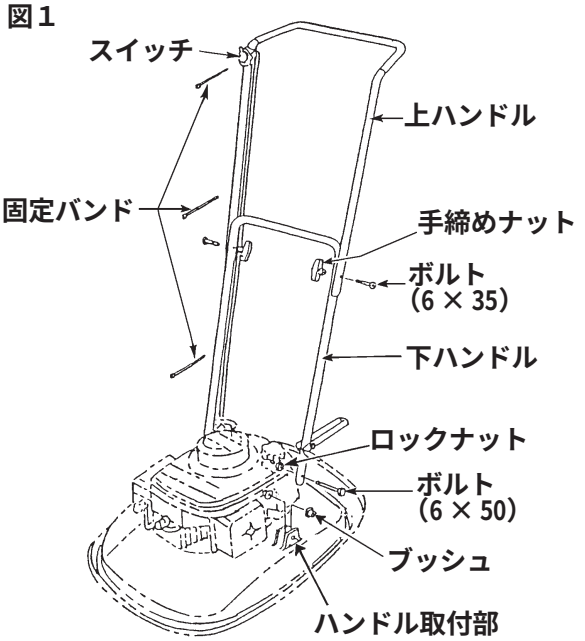
組　　立

⚠ 警告

正しく組立ててください。誤って組立てたものを使用すると、死傷事故を起こす恐れがあります。

- **本機を改造しないでください。**
- **整備不良の機械や、改造した機械は危険ですので使用しないでください。**
- **エンジン部単体での始動はしないでください。**

図１



ハンドルの組付

重要

- **下ハンドルの取付けナットは、ロックナットです。ハンドルが、軽く動くところで止めてください。**
- **上ハンドルにはストップスイッチを組付けています。更に、エンジン側にもリード線を固定しています。無理にリード線を引っ張らないようにしてください。**

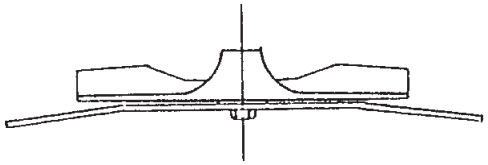
- **上ハンドル、下ハンドルをボルトおよび手締めナットで組付けます。（図１参照）**
- **下ハンドルはハンドル取付部に差し込み、ボルトを外側から通しロックナットで締付けます。（デッキの取付穴には、あらかじめブッシュがそれぞれ内側から組付けてあります。）**

⚠ 警告

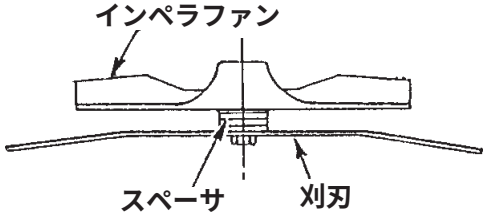
ご使用前に、ヒビ割れや大きな傷がないか点検してください。
ヒビ割れや大きな傷がある場合は、必ず新しいものと交換してください。

図２

出荷状態（スペーサ無し）



お望みの高さになるように、スペーサの枚数を決めてください



刈高さの調整

⚠ 注意

不用意に刈刃に触れてケガをすることがないように、刈刃の着脱の際は手袋をして作業してください。

重要

刈刃の締付トルク：　２５Ｎ・ｍ
（２５０ kgf・ｃｍ）

- **お客様に、最初お届けする機械の刈刃は、最も高い位置に組付けています。**
- **低く刈る場合はスペーサを刈刃の裏側に組付けてください。（図２参照）**
  スペーサは３枚あります。
  お望みの高さになるように、枚数を選んで組付けてください。
- **刈刃の着脱は１４ページの「刈刃の研磨と交換」を参照してください。**
- **伸びた芝を刈るときは、一度目は高刈を行ない、再度刈高さを変えて二度刈をしてください。**

正しい作業のために

⚠ 注意

- 機械を操作する人は心身ともに健康でなければなりません。
  子供には使わせないでください。
- 夜間や天候不良などの視界の悪いときは作業をしないようにしてください。

⚠ 注意

- 労働省の通達により、一日の使用時間は２時間以内、連続作業時間はおおむね３０分以内にしてください。連続作業後には５分以上の休止時間をとってください。
- 蜂に気をつけて作業してください。

図１



作業者の体調

- 疲れているときは、機械を使用しないでください。もし、機械使用中に疲れた場合は、作業を中断し休憩してください。
- 酒を飲んでいる人、薬物の影響がある人は、機械を操作しないでください。視覚や敏しょう性、判断力に影響をおよぼします。
- 身体を冷やさないようにしてください。
  特に手首や手指は保温に心掛けてください。

図２



痛い、感覚がない？
医師の診察を受けること

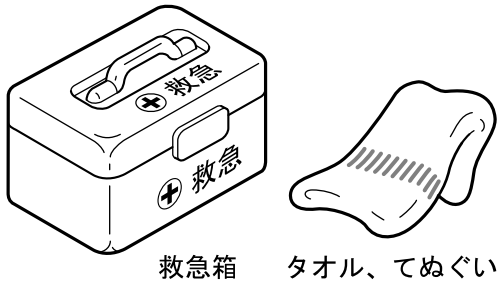
振動と冷え

機械を操作する人の体質によっては、指にレイノー症候群と呼ばれる症状が現われることがあります。これは振動と冷えにさらされることにより起こるとされており、指にチクチクとした痛みや、火傷のようなヒリヒリした痛みを感じ、さらには指先が白くなり感覚がなくなります。
症状の現われる限度が未解明であるため、特に末梢部は温かく保ってください。

反復作業による傷害

指や手、腕、肩の筋肉やすじを使いすぎると、その箇所にズキズキする痛みや腫れ、マヒ、衰弱、激痛が起こるとされています。手で、一定の反復する動きを長く続けると、反復作業による傷害の危険性が高くなります。定期的に休息をとってください。

図３



救急箱　　タオル、てぬぐい

ケガへの備え

- 万一のケガへの備えとして、応急手当用品の入った救急箱を用意してください。
  出血をともなうケガについては、止血用に汗拭き用のタオルや、てぬぐいなども有効ですので、常時余分に作業現場へ携帯することをおすすめします。
- 応急手当については、地域の消防署や消防組織（消防団など）で知識、技能の普及につとめていますので、それらの講習、訓練を受け、基本的な知識を習得されることをおすすめします。

図１

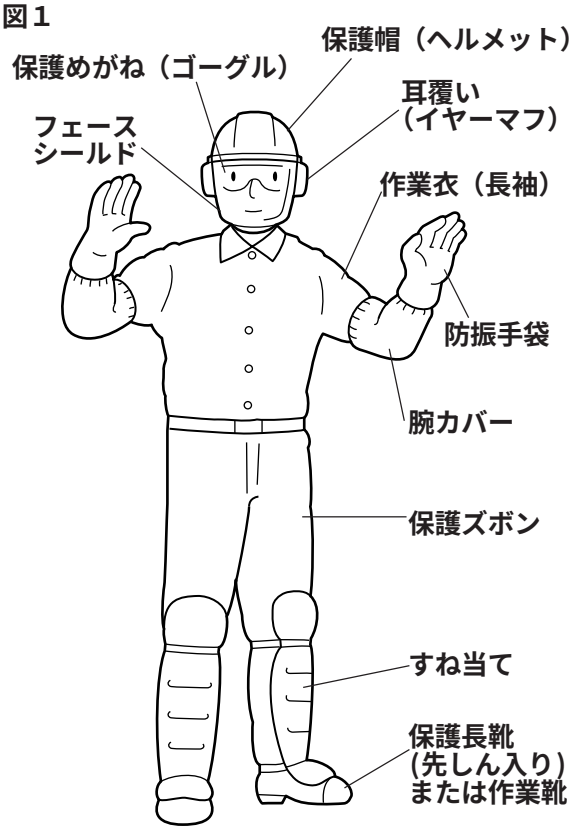


図２

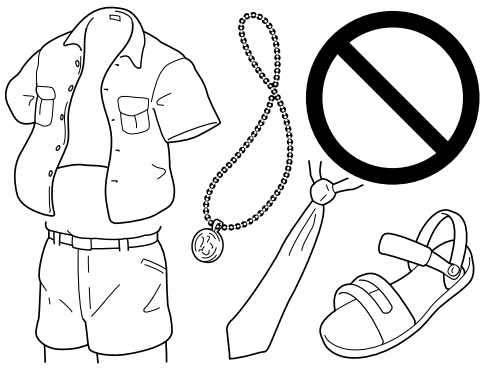
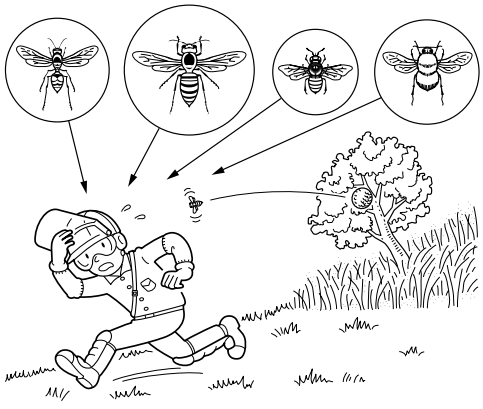


図３　アシナガバチ　スズメバチ　ミツバチ　マルハナバチ



保護具

身体を保護する衣服

身体に合った作業衣（長袖）を着用してください。衣服はボタン､ファスナを完全にし､作業衣のすそはズボンに入れること。袖じまりを良くしてください。フリルや飾りヒモは機械や雑草に絡まる原因になります。ネクタイ、だぶついた服、宝石類は着用しないこと。髪の毛は肩より上でまとめること。

目の保護

この機械を使用する人は､刈刃装置から飛んで来る物に対してだけでなく、空中のホコリや、種、花粉などから目を保護するものを身に付けなければなりません。

日常、めがねを使用している人は、そのめがねの上から保護めがね（ゴーグル）などの目を保護するものを付けてください。

耳の保護

長時間大きな音を聞いていると聴覚が弱くなったり、聞こえなくなったりする原因となります。

耳覆い（イヤーマフ）や耳栓などの聴覚を保護するものを着用して騒音から耳を保護してください。

頭部の保護

頭上の木の枝や、落下物の危険性に対して、保護帽（ヘルメット）を使用し頭部を保護してください。

顔の保護

飛来物や飛散物から顔を保護するため、フェースシールドを使用してください。

手の保護

防振手袋を着用してください｡柔らかい革のものは､握りをより確実なものにできます。

脚全体の保護

底に滑り止めの付いた丈夫な保護長靴(先しん入り)か、作業靴(先しん入り)とすね当てを着用してください。刈刃より飛んで来る物から身を守るのに適しています。

身体の保護のためのその他の事項

- 蜂が近づいて来たら､速やかに危険区域から遠ざかること｡蜂は頭部や顔をねらって来るので､防蜂網は効果があります。特に蜂アレルギーの人は必ず着用し、防護手袋なども使用します。
- アレルギー性鼻炎(花粉症)などの症状が出やすい人は､薬局などで売っている使い捨ての防塵マスクを付け、アレルギーを起こす花粉などを極力吸い込まないようにしてください。

操　作　方　法

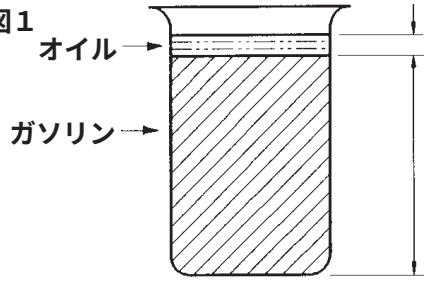
⚠ 警告

・引火しやすいので、燃料の取扱いは火災に充分注意してください。
燃料の補給中にタバコを吸ったり、火花を出したりしないでください。
・エンジンが熱いときや、エンジンを始動したままでの燃料補給は絶対にしないでください。
・作業中、万一、エンジンから発火または発煙したら機械から離れ、まず、身体の安全を確保してください。

⚠ 注意

燃料を補給する際はポンプを使用し、機体が安定した状態で給油口からこぼれないように注意して補給してください。
傾斜地では補給しないでください。
機械に燃料が少しでもこぼれたら、必ず拭き取ってください。

図1



ガソリン	2サイクルエンジンオイル	
L	mL	
	50：1	25：1
4	80	160
8	160	320
20	400	800

図2

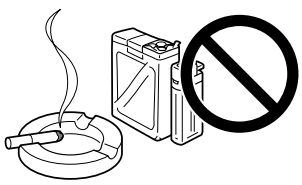
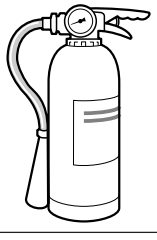


図3



シャベルまたは消火器を用意する

燃料の取扱い

重要

・混合燃料の長期保管は劣化しやすいので、燃料は使用する分量だけ混合してください。
燃料の混合は、機械の燃料タンクで行なわないでください。
・燃料タンク、燃料タンクキャップ、ブリーザ、燃料コック、燃料パイプなどは使用前に点検し、異常が発見された場合は使用せず交換してください。
・ＪＡＳＯ性能分類：２サイクルエンジンオイルの潤滑性能順にＦＣ、ＦＢ、ＦＡの３種類に分類し表示します。
共立純正２サイクル専用オイルは「ＦＣ」で、混合比「５０：１」で使用します。

●本機の燃料にはレギュラーガソリンと、２サイクルエンジンオイルを混合した燃料を使用してください。正しくない燃料はエンジン機能不良の原因となります。
●燃料の混合比は、２サイクルエンジンオイルの種類により下記の通り使用してください。
・共立純正２サイクル専用オイル　;[５０：１]
ＪＡＳＯ性能分類　ＦＣ
・２サイクルエンジンオイル　;[２５：１]
ＪＡＳＯ性能分類　ＦＢ、ＦＡ
●ガソリンとオイルの混合はガソリン用の容器を使用し、よく混合してください。
●燃料タンクには、外気との間に圧力差が生じています。
燃料を補給するときは、燃料タンクキャップをすこしゆるめて圧力差を取除いてください。
●燃料タンクに燃料を補給するときは、屋外の舗装されていない地面の上で行なってください。
屋内では燃料を補給しないでください。
●エンジンが熱いときや、エンジンを始動したままでの燃料補給は絶対にしないでください。
●必ず規定レベル以下に補給してください。
●燃料を補給した後は、燃料タンクキャップを確実に締めてください。
●エンジンを始動する前に、燃料を補給した場所から３m以上移動してください。
●燃料タンクに燃料が残っている状態で、機械をしまわないでください。燃料漏れがあった場合、火災の原因となります。
●自分の身体を、火災その他の傷害から守るように注意してください。
草木などに類焼しないよう注意してください。
シャベルで砂などをかけるか、または消火器で消火してください。

エンジンの始動と停止

⚠ 警告

・エンジンの排気ガスには､死に至る有毒なガスが含まれています｡屋内や通気の悪い場所でエンジンを始動しないでください。
・エンジンが始動すると刈刃が回転しますので、手、足を絶対に近づけないでください。

重要

・本機のデッキを足でしっかり押し付け､スタータグリップを引いてください。(図１参照)。
左手でハンドルを下へ押し付けるようにして持つと本機は安定し、始動が容易です。
・スタータグリップを引くときは、まず軽く引き出し更に素早く引いてください。
引き紐の２／３以上は引き出さないでください。
・スタータグリップを戻すときは、途中で手から離さないでください。
・エンジン停止後は､燃料コックを閉めてください。

図１



地面にしっかりと押え始動する

図２

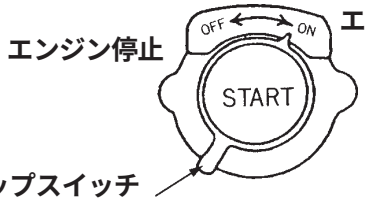
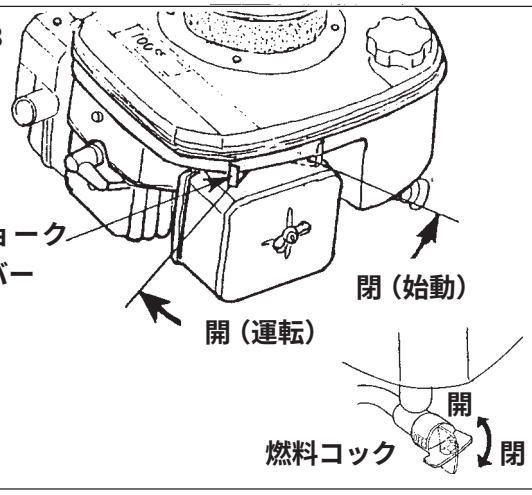


図３



⚠ 注意

・エンジンを始動する前に、ボルトやナット、ネジが締まっているか確認してください。
ゆるんでいる場合は、増し締めしてください。
・エンジンを始動する前に刈刃をチェックしてください。ヒビの入った刈刃、破損している刈刃は、それがどんなに小さくても使用せず、新品と交換してください。
・燃料が漏れていないか確認してください。
燃料が漏れている場合は､エンジンを始動せずにお買い求めの販売店にご相談ください。
・機械の周囲は充分に広くとり、人、動物は近づけないこと。また、障害物がないことを確かめ、刈刃が地面や他の物に触れないことを確認してから始動してください。
・機械は地面にしっかりと押え､始動してください。
・エンジンの運転中は､ハンドルから手を離さないでください。
・エンジンが停止しないときはチョークを閉じると停止します。機械を再び使用する前に、ストップスイッチの点検をしてください。

エンジンの始動には、冷えたエンジンの場合と暖まっているエンジンの場合があります｡エンジンの状態を確認の上､各々の始動の手順に従って始動してください｡順序を間違えると始動が困難になる場合がありますので注意してください。

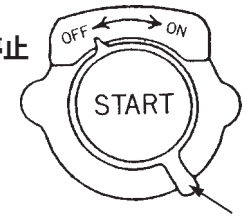
冷えたエンジンの始動

1. ストップスイッチを始動(ＯＮ)の位置にします。(図２参照)
2. 燃料コックを開きます。(図３参照)
3. チョークレバーを「閉」の位置にしてください。
4. 機械をしっかり押えスタータグリップを引いてください。(図１参照)
5. 始動しましたら､チョークレバーを素早く｢開｣の位置に戻してください。
6. エンジン始動後はハンドルから手を離さないでください｡ハンドルを握っていないと、ハンドルがデッキと共に回り出します。

暖まっているエンジンの始動

1. ストップスイッチを始動(ＯＮ)の位置にします。(図２参照)
2. 燃料コックを開きます。(図３参照)
3. チョークレバーを「開」の位置にしてください。
4. スタータグリップを強く引いてください。
5. ４回スタータグリップを引いてもエンジンが始動しないときは､｢冷えたエンジンの始動｣に従ってください。
6. エンジン始動後は､ハンドルから手を離さないでください。

図１　エンジン始動・運転



エンジン停止

ストップスイッチ

エンジン停止

1. ストップスイッチを停止（ＯＦＦ）の位置にしてエンジンを停止してください。（図１参照）
2. エンジンが停止しないときは、チョークを閉じてください。（１０ページ図３参照）エンジンは失速し停止します。
   機械を再び使用する前に、お買い求めの販売店にストップスイッチの点検と修理を依頼してください。
3. エンジン停止後は燃料コックを閉め、キャブレタ（気化器）への燃料供給を止め、次に始動しやすい状態にしてください。（１０ページ図３参照）

長期に機械を使用しないときは、必ずスパークプラグキャップを抜き、エンジンが始動しないようにしてください。

基本的な作業方法

⚠ 警告

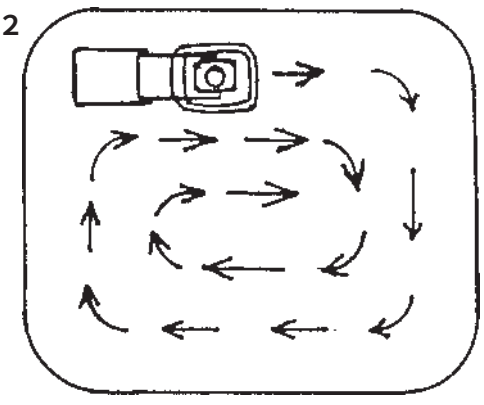
- エンジン下部の吸込み口に付着した刈草を取除くときは、必ずエンジンを停止してから行なってください。刈刃やエンジンが回ったままでは、ケガの原因になります。
- マフラ下部、エアクリーナ下部に刈草が付着したときは、必ずエンジンを停止させてから、速やかに取除いてください。
- 掃除するときは、必ずエンジンを停止し、燃料コックを閉じて、刈刃が完全に止まってからデッキ表面、裏側を掃除してください。
  デッキを傾けるときは燃料タンクのキャップが上側になるようにしてください。逆にしますと燃料がキャップから漏れます。

⚠ 注意

常に両手でハンドルを握り、機械を使用してください。絶対に片手で使用しないでください。

- この機械の取扱いと正しい使い方について、完全に慣れてください。
- 機械の正しい指導や訓練を受けていない人、子供には、絶対に使わせないでください。
  この機械を使用する人は必ず、脚全体や、目、耳、顔、頭部を保護するものを着用し、この取扱説明書を読んだ人でなければなりません。

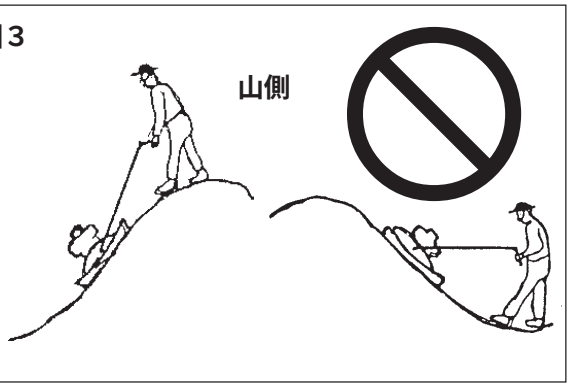
図２



●広い平坦な場所では、外周から内側へ時計方向に刈ってください。（図２参照）

●濡れた草の上は滑りやすいので注意してください。

図３



●作業中、本機のハンドルは両手で握りデッキが常に地面に平行になるようにして作業をしてください。（図３参照）

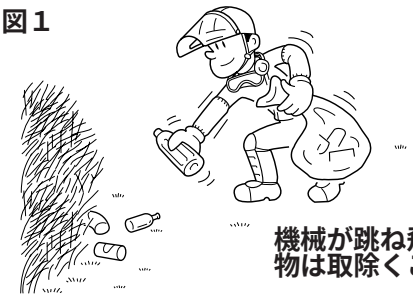
●丈夫で背の高い草は、刈刃を一番高くセットして、刈ってください。

●濡れた草は付着しやすいので、時々掃除してください。
  掃除するときは必ずエンジンを停止し、刈刃が止まっていることを確認してください。

⚠ 警告

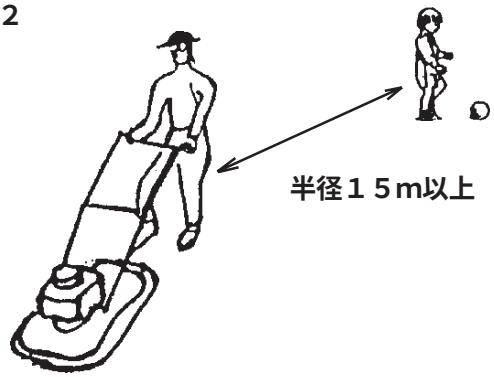
・このフライングモアは、草刈作業中小さな砂利や石、ガラス片、金属プラスチック片などを、跳ね飛ばすことがあります。
・傷害を起こす危険がありますので作業中は危険ゾーンに誰も入らせないでください。危険ゾーンは作業者を中心に半径１５mの範囲です。
・夜間や、視界が悪く暗い場所では、機械を絶対に操作しないでください。

図１



機械が跳ね飛ばしそうな物は取除くこと

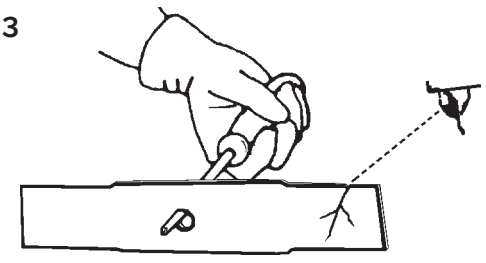
図２



⚠ 警告

・ヒビの入った刈刃は作業中に飛散することがあります。絶対に使用しないでください。
刈刃に曲がり、高温による変色、ヒビがある場合は刈刃を交換してください。
刈刃取付ボルトが摩耗している場合は刈刃取付ボルトを交換してください。
（１４ページ「刈刃の研磨と交換」参照）
・充分に締付けられていない刈刃は、外れて飛び出す原因となります。

図３



使用前に刈刃をよく点検すること

作業上の注意

⚠ 注意

・機械を使用する前に、作業を行なう場所をよく確認して、機械が跳ね飛ばしそうな物を取除いてください。
・作業中や機械を持ち運ぶときは、火傷などしないように高温部には充分注意してください。

●機械を中心に半径１５mの範囲に子供や見物人、ペットがいないことを確認してください。
誰かが１５m以内に近づいてきたら、直ちにエンジンを停止し、刈刃の回転を止めてください。
●作業を補助する人、共同作業をする人もお互いに合図のしかたを決めて、１５m以上離れて作業してください。
連絡用に、呼子（笛）を携帯することをおすすめします。
●視界が悪く、暗い場所では、機械を絶対に操作しないでください。
●機械が突然異常な振動をしたら、直ちにエンジンを停止してください。
突然の振動は、フライホイール、クラッチ、刈刃などの故障や、ネジのゆるみなどが原因です。
故障の原因がわかり、修理が終わるまで機械を使用しないでください。

刈刃使用上の注意

●岩や石、切り株などの障害物に、刈刃を接触させないでください。
●刈刃を地面にくい込ませないでください。
●刈刃が障害物に当たった場合、直ちにエンジンを停止し、刈刃が止まったことを確認してから、刈刃の損傷を点検してください。

点　検・整　備

⚠ 注意

・点検・整備をする前に必ずエンジンを停止し、燃料コックを閉め､冷えた状態でスパークプラグキャップを外して作業してください。
・発火テストは、シリンダのプラグ穴の上ではしないでください｡シリンダ内の混合気に引火し、火傷の恐れがあります。

重要

・エアフィルタ、プリフィルタ、リコイルフィルタは共に消耗品です。早めに交換してください。
・エンジン冷却風の入口や､シリンダフィンにゴミなどが詰まりますとエンジン焼き付きの原因となります。

図１

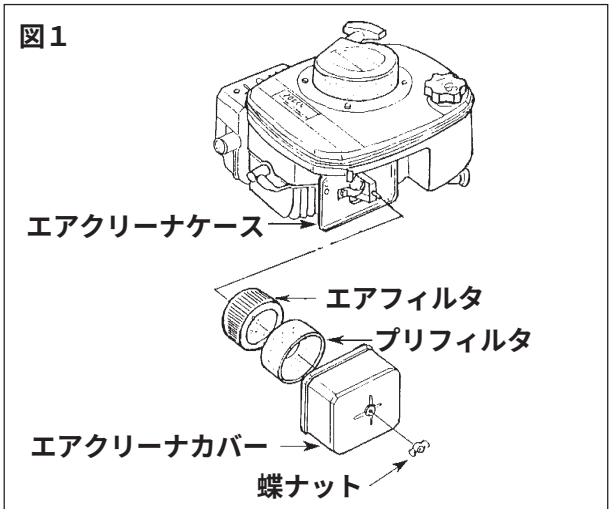


図２

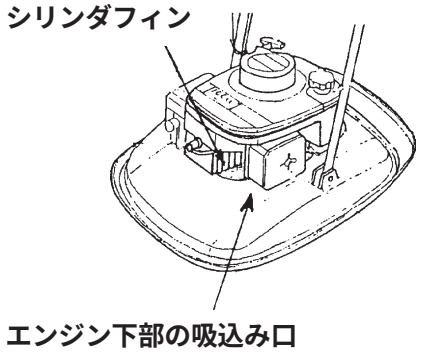
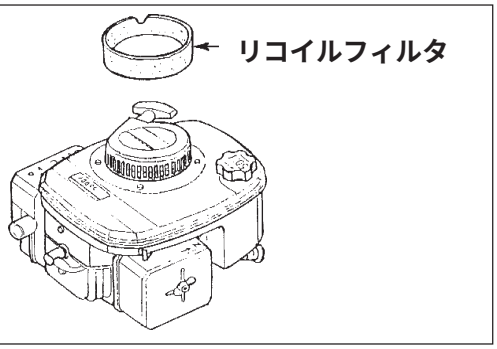


図３



点検要領

●製品を調子良く、安全に使用するために定期的に点検・整備をしてください。

エアフィルタの清掃

作業の終了後､またはご使用前に点検してください。
汚れますと、エンジンの始動困難や、回転が低下し作業能率が著しく落ちる原因になります。

1. チョークレバーを｢閉｣の位置にします。
2. エアクリーナカバーの外側を掃除します。
3. 蝶ナットを外し、エアクリーナカバーを外します。（図１参照）
4. キャブレタの吸込み口にゴミを落とさないように静かにエアフィルタを外します。
5. プリフィルタは合成洗剤と温水を混ぜた中で洗い、よく絞って乾かします。
6. エアフィルタは圧縮空気を内側から吹き付けて汚れを落とします。エアフィルタの取付け面の汚れも落としてください。
7. エアクリーナケースとカバーの内側も掃除してください｡キャブレタの吸込み口にゴミを落とさないように注意してください。
8. エアフィルタにプリフィルタを取付けます。
   プリフィルタが著しく変形もしくは破損していたら交換してください。

燃料フィルタの交換

燃料フィルタの目詰まりは､エンジンの始動困難や性能異常の原因になります。
ご使用前に点検してください。

1. 燃料タンクキャップを外してください。
2. 針金などで燃料フィルタを引っ掛け､燃料タンクの給油口から取出してください。
3. 燃料フィルタ部分が黒く硬くなっている場合は汚れていますので交換してください。
4. 燃料パイプから抜き取って新しい燃料フィルタと交換します。
5. 燃料タンクの給油口から燃料フィルタを入れて、燃料タンクキャップを締めてください。

冷却装置の整備

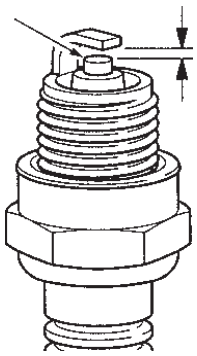
ご使用前に点検してください。

●シリンダフィンに刈草やゴミが詰まると､エンジンの冷却が悪くなります。シリンダフィンの間のゴミと汚れを取除いてください。（図２参照）
リコイル部のフィルタが破損なく､常に正しく使われていれば､刈草などの侵入はあまりありません。

●エンジンの下部の吸込み口の周りに付いたゴミなどを取除いてください。（図２参照）
刈草を付着させたまま使用しますと浮力が落ち、作業性が悪くなり能率が低下します。

●リコイルスタータの吸込み口には、フィルタを設けています｡これは､ゴミが吸込み口を通って、シリンダに堆積しないようにしています｡吸込み口に刈草や、ゴミが堆積したときは、その都度掃除してください｡エンジンの冷却能率が落ち､出力が低下します。このフィルタは消耗品です。破損したり､紛失したら速やかに新しい物と交換してください。（図３参照）

図１



スパークプラグの点検

月に一度は点検してください。

1. 付属のソケットレンチ（１９mm）でスパークプラグを外してください。
2. 電極が減っているとき、すき間不良のとき（正しいすき間は０．６～０．７mm＝ハガキ３枚分の厚さ)、また電極の周囲にオイルや堆積物が付いているときは、新しいプラグと交換してください。（図１参照）
3. スパークプラグは、付属のソケットレンチでしっかり締付けてください。
   参考 ：締付けトルクは１５～１７N・m
   （１５０～１７０ｋｇｆ・ｃｍ）です。

マフラ（消音器）と排気口の清掃

排気口とマフラにカーボン（スス）が付着すると、エンジンの出力低下につながります。

- マフラカバーを取外すと、マフラを取外すことができます。
- ガスケットを点検して、破損していた場合は交換してください。
- エンジンのピストンを上限 （上死点）の位置にしてください。
- 排気口を清掃するときは以下の点に注意してください。
  - ・シリンダ内にカーボンが入らないようにしてください。
  - ・シリンダやピストンを傷つけないでください。

キャブレタの調整

キャブレタの調整は、お買い求めの販売店へご相談ください。

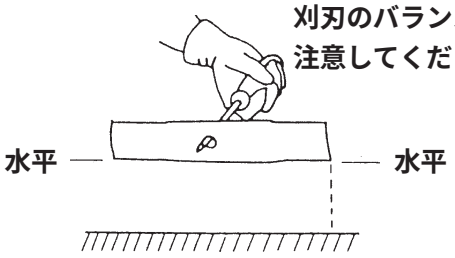
⚠ 警告

- ・欠けや割れのある刈刃は、危険ですから使用しないでください。欠けや割れの無い刈刃に交換してから作業してください。
- ・デッキを傾けるときは、燃料コックを閉じて燃料タンクのキャップが上側になるようにしてください。
  逆にしますと燃料がキャップから漏れます。

⚠ 注意

不用意に刈刃に触れてケガをすることがないように、刈刃の交換や研磨の際は手袋をして作業してください。

図２



刈刃の研磨と交換

重要

- ・研磨はこまめに行なってください。
- ・グラインダを使用して研ぐときは、急に水などに投げ入れて冷やさないように注意してください。刈刃がもろくなります。
- ・刈刃のバランスが悪いと、ハンドルの振動が増え作業能率が低下します。
- ・刈刃の締付けトルク：２５N・m
  （２５０ kgf・ｃm）

刈刃は当社指定のもの以外使用しないでください。

- ●刈刃の交換をするときは、燃料コックは必ず閉じて燃料タンクのキャップが上側になるようにして横転して行ないます。
- ●刈刃にウエスや布切れなどを巻き付けて保護し、回らないように手で押え、刈刃取付けボルトを付属のソケットレンチ（１７mm）を使用して、刈刃側から見て反時計方向に回してゆるめます。
- ●締めるときは、刈刃側から見て時計方向に回し、確実に締付けてください。
- ●**純正刈刃**
  部品番号 ： ６９６０３０－１１５６１

故障診断と対策

⚠ 警告

交換・清掃・調整してもトラブルが解消しないときは、お買い求めの販売店へご相談ください。

エンジンの調子が悪く故障診断するときは、まず次のことを確認してください。
●燃料タンクに燃料が入っていること。
●ストップスイッチが始動の位置にあること。

故障内容			原因	対策
エンジンが始動困難、または始動しない				
クランク軸が回転する →	キャブレタの燃料 → ↓	キャブレタに燃料がない	●燃料フィルタの目詰まり ●燃料系統の目詰まり ●キャブレタの不良	●清掃／交換 ●清掃 ●販売店へ
↓	シリンダの燃料 →	シリンダに燃料がない	●キャブレタの不良	●販売店へ
↓	→ ↓	プラグが燃料で湿っている	●空燃比（空気と燃料の混合比）が濃すぎる	●チョークを開く ●エアフィルタ清掃／交換 ●キャブレタ調整 ●販売店へ
↓	プラグコードの先端で発火する → ↓	プラグコードの先端で発火なし	●電気的故障	●販売店へ
↓	スパークプラグは発火する → ↓	スパークプラグが発火しない	●電極の隙間が正しくない ●カーボン（炭素）の堆積 ●燃料による汚れ ●スパークプラグの不良	●0.6～0.7mmに調整 ●清掃／交換 ●清掃／交換 ●交換
クランク軸が回転しない	↓		●エンジン内部の故障	●販売店へ
エンジンは始動する ↓	持続しない、または加速不充分 ↓		●エアフィルタの汚れ ●燃料フィルタの汚れ ●燃料通路の詰まり ●スパークプラグの不良 ●キャブレタの不良 ●冷却装置の詰まり ●排気口／マフラ出口の詰まり	●清掃／交換 ●清掃／交換 ●清掃 ●清掃、調整／交換 ●調整 ●清掃 ●清掃

保　　管

⚠ 警告

燃料ガスが充満している密閉された場所や、裸火、火花のある場所に保管しないでください。

重要

この取扱説明書は、いつでも読めるよう保管してください。

長期保管（60 日間以上）

機械を長期間（60日以上）にわたって保管する場合は、以下に示す保管の際の整備を必ず実施してください。

1. 燃料タンクを完全にカラにしてください。
   A. 燃料タンク内の燃料を抜き取ってください。
   B. エンジンを始動し、自然に停止するまで運転してください。
      運転中はハンドルから手を離さないでください。
2. 燃料コックを閉じ、ストップスイッチを停止位置にしてください。
3. 機械の外側に付いたグリース、オイル、ホコリ、ゴミなどをきれいに拭き取ってください。
4. 本書に定められた定期的な点検をしてください。
5. スクリュ、ナット類が締まっているか確認してください。
   ゆるんでいる場合は、増し締めしてください。
6. エンジンが冷えたらスパークプラグを外し、その取付穴から大さじ１／２杯の、新しくきれいな２サイクルエンジンオイルをシリンダに入れてください。
   A. スパークプラグの取付穴の上にきれいな布を掛けてください。
   B. スタータグリップを２、３回引いて、エンジンオイルをエンジンに行き渡らせてください。
   C. スパークプラグ取付穴からピストンの位置を確認してください。スタータグリップをゆっくり引き、ピストンが最も上のところで止まるようにしてください。
7. スパークプラグを取付けてください。
   （スパークプラグキャップは接続しないでください。）
8. 機械を乾かし、子供の手の届かない、湿気やホコリの少ない室内に保管してください。

仕　　様

項　目	単位	FM-47
質　量　（燃料除く）	ｋｇ	１４．４
容　量 　燃料タンク	Ｌ	１．７
刈　刃 　刈　幅 　刈　高 　刈刃数	 mm mm 枚	 ４７０ １３～３８ １
刈刃駆動軸回転方向(上から見る)		時計方向
外形寸法(ハンドルは除く) 　長さ×幅×高さ	mm	３２０×３５０×４５０
エンジン 　形式 　排気量 　セット回転数 　キャブレタ形式 　点火方式 　スパークプラグ 　始動方式	 ｍＬ ｒ／ｍｉｎ	空冷２サイクル単シリンダ Ｍ９９Ｖ ９８．５ ３，４００～３，７００ ウォルブロ･フロートタイプ フライホイールマグネト：ＣＤＩ方式 ＣＨＡＭＰＩＯＮ　ＣＪ－８Ｙ リコイルスタータ
燃料混合比		[レギュラーガソリン：２サイクルエンジンオイル] ・共立純正２サイクル専用オイル 　ＪＡＳＯ性能分類　ＦＣ　　[５０：１] ・２サイクルエンジンオイル 　ＪＡＳＯ性能分類　ＦＢ、ＦＡ　[２５：１]
最大エンジン出力時燃料消費量	Ｌ／ｈ	１．７

＊ この仕様は予告なしに変更することがあります。

株式会社 共立

東京都青梅市末広町 1-7-2　〒 198-8711　☎0428-32-6181

北海道共立エコー株式会社
札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　〒 004-0041　☎011-891-2249(代)

東北共立エコー株式会社
仙台市若林区卸町東 5-1-50　〒 984-0002　☎022-288-0511(代)

東部共立エコー株式会社
青梅市末広町 1-7-2　〒 198-0025　☎0428-32-1091(代)

中部共立エコー株式会社
愛知県西春日井郡西枇杷島町宮前町 1-39　〒 452-0031　☎052-502-4111(代)

西部共立エコー株式会社
岡山市藤田 566-159　〒 701-0221　☎086-296-5911(代)

九州共立エコー株式会社
大野城市白木原 5-3-7　〒 816-0943　☎092-573-5361(代)

エコーレンテックス株式会社
青梅市末広町 1-7-2　〒 198-0025　☎0428-32-6777(代)

◎ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

898 512-1156 1
X750 407-040 2